

韓国

中期的視点による重点的取組

民間主体の交流拡大と定期便利用の促進及び県産品の輸出拡大

令和4年度の評価

★民間主体の交流拡大

○忠清南道との交流

- ・ 8月、忠清南道が主催する「環黄海フォーラム」に出野副知事が出席し、本県の海洋環境保全の取組を報告。忠清南道知事と10周年を機にした一層の市民交流促進を確認
- ・ 本県と韓国 K-POP 高校の高校生によるオンライン交流（テーマ：K-POP や学校生活等、参加者 36 人）、本県・山梨県・忠清南道の学生によるオンライン交流（テーマ：若者の社会貢献、参加者 25 人）により、相互理解の促進と交流事業への参加意欲向上に寄与

○朝鮮通信使の文化資源の活用

- ・ 朝鮮通信使と縁の深い清見寺で、韓国要人（駐横浜総領事）を招いた茶会を開催。日韓友好の象徴の地である本県を効果的に発信

★定期便利用の促進

- ・ 8月、出野副知事がチェジュ航空を訪問し、静岡ーソウル線の早期運航再開を働きかけ。2月にはチェジュ航空によるチャーター便が運航、3月には定期便が再開し、コロナ禍で全便欠航となっていた富士山静岡空港の国際線再開が実現
- ・ 本県へのパッケージツアーを催行する韓国の旅行会社に支援金を交付。39件、849人分のインバウンド誘客を実現

★県産品の輸出拡大

- ・ 「ふじのくに通商エキスパート」が相談・商談等 10 件、調査 6 件、広報・その他 6 件を実施し、県産品の輸出拡大に寄与

現状・課題

★東アジア文化都市

- ・ 全州市と連携し、本県の魅力を世界にPR

★忠清南道との友好協定締結 10周年

- ・ 10周年を記念した式典や関連事業を展開し、自治体間、市民間の交流の一層の推進が必要

★市民交流の促進

- ・ 日韓交流の将来を担う若者の交流促進が必要

★再開した定期便の利用促進

- ・ 約3年ぶりに運航が再開した静岡ーソウル線の定着や増便に向け、一層の利用促進が必要

令和5年度の取組

★民間主体の交流拡大

○東アジア文化都市

- ・ 全州市と連携し、相互の情報発信を展開
- ・ 韓国メディアを本県に招へいし、本県の魅力を韓国国民に効果的にPR

○忠清南道との交流（友好協定締結 10周年）

- ・ 訪問団の相互派遣により、自治体間交流を一層促進
- ・ 忠清南道の朝鮮通信使関連団体を受け入れ、県内の団体と交流。その他民間団体の相互訪問も支援
- ・ 韓国 K-POP 高校の生徒と本県高校生の交流を継続。今後の訪問意欲を喚起

○朝鮮通信使の文化資源の活用

- ・ 朝鮮通信使記念茶会の継続開催と韓国メディアへの働きかけにより、本県を効果的に発信

○グローバル人材の育成

- ・ 静岡県立大学、静岡文化芸術大学と韓国の大学との学生相互派遣、県内高校生の済州青少年フォーラム参加等による、グローバル人材の育成

★定期便利用の促進

- ・ 静岡ーソウル線の定着、増便に向け、航空会社や観光事業者等と連携した利用拡大キャンペーンやSNSでの情報発信とプロモーション、本県を目的地とする訪日旅行に対する支援等

★県産品の輸出拡大

- ・ 「ふじのくに通商エキスパート」の活用
- ・ 新たなビジネスモデル（県産品のブランディング、コロナによる海外消費者の変化・変容や商取引のオンライン化等）に対応した県産品の輸出拡大を支援



「環黄海フォーラム」での本県の取組の発表



朝鮮通信使記念茶会



チェジュ航空・静岡ーソウル線運航再開記念式典



K-POP トークカフェ